

横井鐵雙 よこゑ かねたけ 儒者。文政十年紀伊國和歌山藩生れ、明治四十年九月歿（一八七一—一九〇七）。舊姓世郷、諱時敏、字修卿、通稱景二郎、次大夫、鐵雙。號存羊。天保十四年横井氏を襲ぎ、大番に補す。組頭に進むも、文久二年脱藩して國事を奔走。歿後上梓の『脱走始末』（大正二年九月一日和歌山・横井精一編刊）は、その経緯を記す。その後、秩祿舊に復して京都郵奉行となるなど藩政改革に従ひ、明治二年公用司判事と、歳晚病を以て致仕。爾來詩文書畫に遊び、自適。

